

全ては健康を願う人々のために

株主の皆さまへ

第72期
第2四半期のご報告
2019.04.01 > 2019.09.30

証券コード 8129

会長メッセージ

Top Message

医療・健康・介護に携わる企業集団として、グループ一体となり変革を推進しています。

**当第2四半期の連結業績は、
期初計画を大きく上回りました。**

当第2四半期における医療用医薬品市場は、新薬の伸長に加え、2019年10月1日に施行されました消費税率引き上げに伴う薬価改定による駆け込み需要の影響もありプラス成長となりました。当社においても、がん治療薬などの新薬、スペシャリティ医薬品、希少疾病用医薬品の売上の伸長や初診受付サービスをはじめとする顧客支援システムの拡大等により、当第2四半期の連結業績は、売上高634,050百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益7,920百万円(前年同期比64.9%増)、経常利益10,951百万円(前年同期比42.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,121百万円(前年同期比44.1%増)といずれも期初計画を大きく上回る結果となりました。なお、当第2四半期の業績結果および今後の見通し等を勘案し、2019年5月9日に公表しました2020年3月期の通期連結業績予想を上方修正しております。

中間配当金は前第2四半期から記念配当5円を増配し、1株当たり20円とさせていただきます。期末配当についても、前期から記念配当5円を増配し1株当たり20円(年間配当金40円)を予定しています。

**中期的な収益性向上と
社会的役割の遂行に取り組んでいます。**

当社グループは、医療・健康・介護に携わる企業集団として、患者さまや医療機関が抱える課題を解決する顧客支援システムの開発・提案や地域包括ケアシステム構築への貢献など幅広い分野で存在価値を発揮する付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革をグループ一体となって推進しています。具体的な中期的な収益性向上のための事業戦略として、①流通改善への取り組み、②販売情報提供活動ガイドラ

インへの取り組み、③最適配送回数への取り組み、④顧客支援システムのさらなる拡大、⑤共創未来ファーマ製品の拡充とジェネリック医薬品の集約化、⑥社会的使命を果たすための物流インフラの整備、⑦調剤薬局事業の機能強化等に取り組んでいます。特に当第2四半期中におきましては、2018年9月25日に厚生労働省より発出された販売情報提供活動ガイドラインの順守に向けた体制整備を進め、グループ・リスクマネジメント室を10月1日付で当社に設置したほか、東邦薬品をはじめとする医薬品卸子会社に販売情報監督室を設置いたしました。また、顧客支援システムにおいては、“薬局業務一元管理システム[ENIF本部]”の名称を“薬局本部システム[ミザル]”に改称し、新たな名称で薬局共創未来会員薬局をはじめとする顧客に向けた提案活動を本格的にスタートしております。共創未来ファーマ製品については、今年6月に1成分4品目、9月に1成分2品目を新たに発売するなど、引き続き、高品質・高付加価値のジェネリック医薬品を安定供給するとともに製品ラインナップの拡充につとめています。2020年秋には「ダイナベース(東京都大田区)」内に総合物流センターの稼働を予定し、当社グループの社会的使命を果たすべく、行政との連携のもと災害時にも医薬品を安定的に供給できる物流センターを目指してまいります。

株主の皆さまには引き続きご支援・ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長 CEO
濱田 矩男



当社グループの強みを活かし、医療機関や患者さまに付加価値を提供することで中長期的な成長を目指します。

代表取締役社長 COO **有働 敦** × 専務取締役 (東邦薬品(株)代表取締役社長) **馬田 明**

医療機関や患者さまの課題を解決する顧客支援システムの普及を加速させるとともにさらなる可能性の追求

有働:国内において医療費抑制策が推進されている中で持続的成長を実現するには競合他社にはない強み、競争優位性がカギとなります。当社グループには、このような市場環境を先取りし、20年以上前から自社での開発に取り組んできた顧客支援システムがあります。医療機関検索サイト「病院なび」、「病院なび」や医療機関のホームページから患者さまが初診の予約をできる「初診受付サービス」、自動音声認識薬歴作成支援システム「ENIFvoice SP/SP+A/Core」、薬局本部

システム「ミザル」(旧名称:ENIF本部)などたくさんさんのシステムがあり、医療機関や患者さまの課題解決に貢献し、大変喜ばれています。

馬田:地域包括ケアシステムへの対応においても顧客支援システムは重要な武器となります。当社の営業要員であるMS(マーケティング・スペシャリスト)が、クリニック向けには「初診受付サービス」、「病院なび」、各種診療予約システム、介護・在宅向けには自動音声認識搭載型訪問看護師向け業務支援システム「エニフナース」、医療材料分割販売「ENIFme(エニフ ミー)」、調剤薬局では「ミザル」や医薬品分割販売、当社の管理栄養士による栄養指導などをしっかり提案する中で、地域特性を踏まえて地域の医療・看護・介護などの従事者をマッチングさせることで多職種連携に貢献できる存在になることを目指しています。

有働:「病院なび」や「初診受付サービス」といったインターネット領域のビジネスはアイデア次第で大きな可能性を秘めており、今後も新たなシステムの開発を進めています。また、当社の音声認識技術についても大きな可能性があり、新しいチャレンジを始めています。音声で記録を作成できるメリットを多方面で訴求し、これまで展開してきた市場よりさらに大きな市場でわれわれのシステムを展開できると考えています。

馬田:当社グループならではのジェネリック医薬品戦略、MSによる高品質・高付加価値のジェネリック医薬品の提案と安定供給

当社グループならではのジェネリック医薬品戦略、MSによる高品質・高付加価値のジェネリック医薬品の提案と安定供給

有働:国内では厚生労働省が2020年9月までにジェネリック医薬品の使用割合80%(数量ベース)を目指しています。その一方で、多くの薬剤師からどのジェネリック医薬品を選択しているのか分からないという悩みをよく聞きます。われわれには約2,000人のMSがいて、毎日のように医療機関を訪問しています。そこで、彼らが高品質・高付加価値のジェネリック医薬品を自社品として医療機関に提案し、安

定的に供給することで医療機関のジェネリック医薬品についての課題を解決するために、ジェネリック医薬品の製造販売会社「共創未来ファーマ株式会社」を3年前に立ち上げました。共創未来ファーマでは独自に品質試験を実施することで品質を担保し、パッケージや錠剤にも独自の工夫をこらしています。

馬田:共創未来ファーマは75成分162品目のジェネリック医薬品を取り扱い、468軒の大学病院・大病院(200床以上)が同社の製品を採用しています(2019年10月末現在)。さらに製品ラインナップを拡充するとともに、当社グループの調剤薬局や当社がさまざまな支援を行っている約2万店舗の「薬局共創未来」会員薬局との関係を強化し、ジェネリック医薬品については共創未来ファーマ製品に集約化していきたいですね。

有働:さらに当社は2019年4月に株式会社スズケンとジェネリック医薬品に関する企画・交渉を行う合併会社として「株式会社TSファーマ」を設立しました。TSファーマが選択したジェネリック医薬品を両社で販売することで大きなシェアを獲得できると考えており、両社でどれだけ多く同じ製品を販売できるか、どこまで両社で取り扱う製品に集約できるか、しっかり検討を進め、大きな影響力となるようなビジネスモデルを構築していきます。

創立70周年を迎えて挑戦する人材を育て続ける

馬田:私が入社した当時の東邦薬品は、一つの班が会社のような独立採算制でした。その時から今に至るまで、当社グループの強みを一言で言うと自由闊達な社風だと感じています。

有働:一方で、統率力、組織力に優れていることも特徴です。特にこれからの時代、グループ全体が一つの方向性に向かって集中して施策を実行することが非常に重要です。冒頭でふれた顧客支援システム、ジェネリック医薬品、さらにはがん

治療薬をはじめとした新薬、今後の新薬の主流となるスペシャリティ医薬品や希少疾病用医薬品分野など、さまざまな可能性を秘めた分野があるなか、当社グループが独自に取り組む分野、他社との協働・連携のあり方を見極めながら、当社グループ事業の付加価値を高めていきたいと思っています。そのためにも、基本となるのは人材です。

馬田:当社には人材育成の場として、外部有識者を評議員とするシンクタンク「未来創研」、その発展形として人材育成に重点をおいた「未来創研大学」、MTP(メディカル・トータル・プランナー)研修など多くの機会を設けています。そのような機会を積極的に活用して自己研鑽し、優先課題に対して自由に積極的に取り組む人材を育てることもマネジメントの役割と考えています。

有働:同一の薬を仕入れて販売する医薬品卸売の世界では価格競争になりがちでした。当社グループはいち早く価格競争から一線を画し、顧客支援システムを開発拡充し、社員に「医療機関や調剤薬局からありがとうと言われるビジネスならば、必ず薬(の売上)はついてくる」と言い続けました。事実、顧客支援システムから取引につなげた社員の売上は増え続けています。これからも、医療機関や患者さまのために、社員にはやりたいことを大いにチャレンジしてほしいし、そうした社員の挑戦を受け止める会社であり続けたいと思います。



専務取締役(東邦薬品(株)代表取締役社長) **馬田 明**

当社取締役、東邦薬品(株)専務取締役を経て、2019年6月に当社専務取締役、東邦薬品(株)代表取締役社長に就任



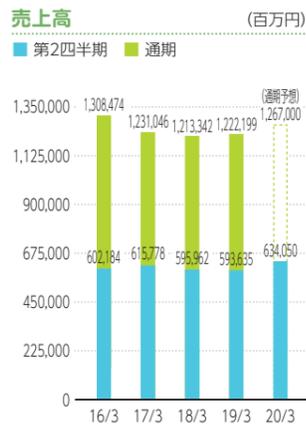
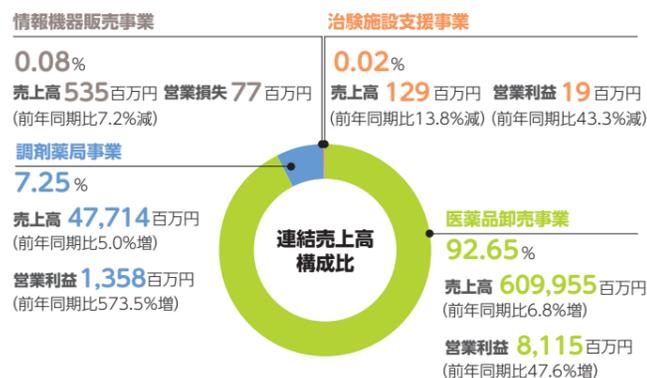
代表取締役社長 COO **有働 敦**

当社常務取締役、東邦薬品(株)代表取締役副社長を経て、2019年6月に当社代表取締役社長 COOに就任

財務ハイライト (2019年9月30日現在)

Financial Highlights

事業セグメント別情報



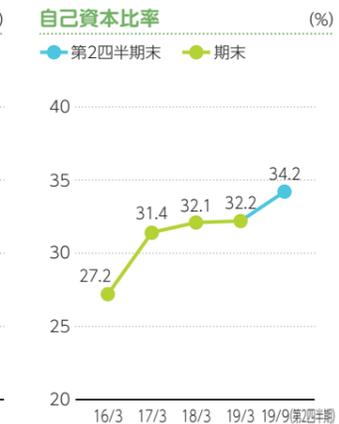
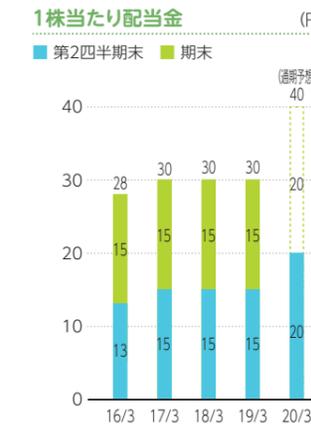
Point 1 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも期初計画を達成



Point 2 がん治療薬などの新薬、スペシャリティ医薬品、希少疾病用医薬品の売上が伸長



Point 3 配当は持株会社移行10周年記念配当を加え年間40円を予定



※16/3~19/3は期末の数値、19/9は第2四半期末の数値を掲載

▶ 会社データ

会社名	東邦ホールディングス株式会社
本店	〒155-8655 東京都世田谷区代沢5-2-1 電話番号: 03(3419)7811
丸の内 オフィス	〒100-6613 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー13F 株式担当: 03(6838)2801 IR担当: 03(6838)2803
設立	昭和23(1948)年9月
資本金	106億49百万円
株式	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8129)
従業員数	7,967名(連結)
グループ 会社	医薬品卸売事業: 東邦薬品(株) 調剤薬局事業: ファーマクラスター(株) 医薬品製造販売事業: 共創未来ファーマ(株) 情報処理事業: (株)東邦システムサービス 不動産事業: 東邦不動産(株) 臨床試験受託・支援事業: (株)東京臨床薬理研究所 情報処理機器の企画・販売業: (株)アルフ スペシャリティ医薬品関連事業: オーファントラストジャパン(株) 院内物流支援事業: (株)ホスピタルパートナーズ 企業経営・医薬経営コンサルティング: (株)ネグジット総研 情報提供サービス業務、等: (株)eヘルスクア 通所介護施設の運営: 共創未来メディカルケア(株)

▶ 役員

代表取締役会長 CEO	濱田 矩男	取締役	中込 次雄
代表取締役社長 COO	有働 敦	取締役	河村 真
代表取締役副会長 CFO	枝廣 弘巳	取締役(社外)	渡邊 俊介
取締役副会長	河野 博行	取締役(社外)	村山 昇作
取締役副社長	藤本 茂	取締役(社外)	永沢 徹
専務取締役	馬田 明	監査等委員である取締役	清水 英行
取締役	加藤 勝哉	監査等委員である取締役(社外)	戸梶 幸夫
取締役	森久保 光男	監査等委員である取締役(社外)	中村 耕治
取締役	本間 利夫	執行役員	小川 健吾
取締役	松谷 竹生	執行役員	上野 淳
取締役	内藤 温子		

▶ 株主メモ

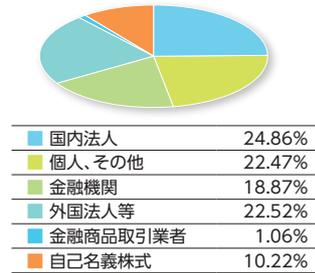
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
公告方法	電子公告(https://www.tohohd.co.jp/)による。 (止むを得ない事由により電子公告できない場合は、 日本経済新聞に掲載する。)
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00)

(ご注意)

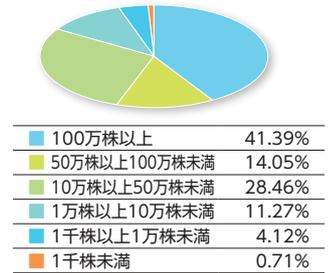
- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。
なお、三井住友信託銀行全国各支店にてお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店にお申出ください。

▶ 発行可能株式総数 192,000,000株
▶ 発行済株式の総数 78,270,142株
▶ 株主数 4,141名

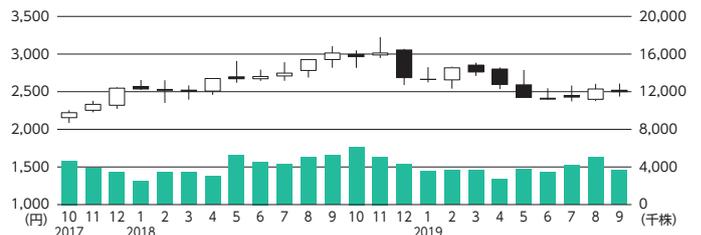
▶ 所有者別株式分布状況



▶ 所有株数別株式分布状況



▶ 株価および売買高の推移(月足)



▶ 株主優待制度

毎年3月31日(当社期末)最終の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有の株主さまといたします。

2019年3月期の贈呈商品例 ▶ 

保有株式数に応じて以下の商品を贈呈いたします。

100株以上1,000株未満 保有の株主さま	1,000円相当の 当社取扱商品
1,000株以上 保有の株主さま	3,000円相当の 当社取扱商品

※ご優待内容については見直しをすることがございます。

贈呈時期 毎年7月中の送付を予定しております。

▶ 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、特別口座に記録されている場合と、証券会社の口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問合せください。

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(*) ●マイナンバーに関するお届出・お問合せ 	特別口座の 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00) https://www.smtb.jp/personal/agency/
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人

(*)特別口座に記録された株式を全所有の株主さまは、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031(平日9:00~17:00)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。